

奈良体育学会会報

第86号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学 体育学部（〒632-0071 天理市田井庄町80）

<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 中谷敏昭（天理大学）

平素より奈良体育学会の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。令和2年度から2年間、会長を務めさせていただく中谷敏昭と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの流行により、私たちの生活は大きく変化しつつあります。身を守るための自粛生活は、生活リズムを崩して睡眠不足や食欲の低下、気持ちの落ち込みなど心身の不調を生じさせ、多くの意欲を失わせました。特に、運動不足やスポーツの自粛が心身に与えた影響は計り知れません。そのため、「新しい生活様式」に合わせた運動やスポーツの実践が今後求められます。

今年度の奈良体育学会大会では、「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」をテーマに、外出自粛等によって生じるコロナ禍の健康二次被害を防ぐための様々な対応について、各演者から貴重なご示唆を頂く予定にしております。本大会はWeb開催として新たに制作した奈良体育学会ホームページ（<https://nspehss.org/>）を活用して行いますので、1週間の開催期間を設けることができました。年に1度の学会大会ですので、学生や大学院生、若手研究者を含め会員の皆様には奮ってご参加いただければ幸いです。

最後になりますが、学会ホームページの制作と大会運営を担っていただく寺田和史 理事長、石坂友司 理事に心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

令和2年度奈良体育学会大会に関するお知らせとお願い

令和2年度奈良体育学会大会につきましては、2020年11月末に例年同様の方法にて開催を予定しておりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、理事会において今年度の開催方法について慎重に検討を重ねて参りました。その結果、今年度は例年通りの開催方法ではなく、Web上で開催することにいたしました。詳細につきましては、本会報及び新設いたしました学会ホームページ（HP）をご覧ください。このような状況下ですが、学会大会にぜひご参加いただけますよう、お願いいたします。皆様には、大変なご心配とお手数をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

<開催要領>

期 日：令和2年11月21日（土）～11月27日（金）

会 場：Web開催（奈良体育学会 HP <https://nspehss.org/> 【新設】内の特設ページ）

<総会>

今年度は紙上開催といたします。議題及び資料については、同封の別紙をご覧ください。奈良体育学会会則第10条に「通常総会は毎年1回開催し、当日の出席会員をもって構成する」とありますので、学会大会参加申込者のみ、賛否の投票を行っていただきます。投票方法につきましては、参加申込確認のための事務局からの返信メールにてご案内いたします。必要な方には賛否理由やご意見についても記載していただきます。審議結果については学会 HP 及び会報で公表し、いただいたご意見等は理事会でとりまとめ、必要と考えられる場合には氏名非公表で学会 HP 等に公開させていただくことがあります。

<一般発表>

一般発表はすべて PDF ファイルによるポスター発表とします。ポスターは学会 HP から Microsoft Power Point (PPT)のテンプレートファイルをダウンロードしてご作成いただき、PTT ファイルを PDF ファイルに変換してご提出いただきます。横長・2枚以内でご作成ください。PDF ファイルの容量は 50MB までとします。ポスターに動画や音声は使用できません。ポスターの作成方法や提出(アップロード)方法の詳細につきましては、発表申込をされた方にメールでご連絡いたします。会期中、参加者は学会専用ページにてポスターが閲覧できます。一般発表に対しましては、参加者は事務局(メール)を介して筆頭演者に質問やコメントを送ることができ、必要な場合には、筆頭演者は事務局を介してそれらの質問やコメントに答えることができるようにする予定です。

<シンポジウム>

テーマ：「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」

趣 旨：新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来、体育・スポーツを取り巻く環境は大きく変化した。その中で各領域・現場における実情や対応あるいは今後のことなどについて、5名のシンポジストにお話を伺い、この先の体育・スポーツのあり方について考えたい。

シンポジスト：

成瀬九美(奈良女子大学) コロナ禍の地域運動指導ボランティアの活動：本学フォローアップ研修会メンバーへの調査から

星野聡子(奈良女子大学) コロナ禍の学生の体力と QOL への影響：奈良女子大学学生への調査から

中田大貴(奈良女子大学) コロナ禍の体育・スポーツ：心理学的見地から

笠次良爾(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ医科学的見地から

井上邦子(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ文化・身体文化の見地から(仮)

座長：

中谷敏昭(天理大学)

以上敬称略

<参加申込・発表申込> ※切が近くなっており、申し訳ありません。

「発表」申込期限：令和2年11月6日(金)17:00

「参加」申込期限：令和2年11月16日(月)17:00

申込方法：奈良体育学会 HP から申込ファイル「奈良体育学会大会参加・発表申込ファイル(Word)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記メールアドレスまで添付ファイルにて送信してください。メールの返信にて受付の確認をします。送信後3日以内に確認の返信がない場合はご連絡ください。参加費の振込が確認できた方には、後ほど大会専用ページへのログインパスワードをお送りします。

学会大会申し込み(参加・発表)ページ：<https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

令和2年度奈良体育学会大会専用メールアドレス(学会事務局)：2020taikai@nspehss.org

参加費：一般会員1,000円、学生会員500円を申込と同時に下記口座にお振込みください。今年度より全会員への研究年報の冊子での配布は取りやめることになりましたが、参加費をお支払いいただいた会員の方には、今回に限り、印刷された冊子による研究年報をお送りいたします。

郵便振替・口座番号：01000-2-28169 加入者名：奈良体育学会

<発表申込様式など>

*研究発表をされる方(筆頭演者)は奈良体育学会会員(一般・学生)に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。筆頭演者にあられる方は、必ず参加費をお支払いください。共同演者の方の参加費の支払いは必要ありません。

* 「奈良体育学会大会参加・発表申込ファイル(Word)」に必要事項をご記入の上、上記と同様に「2020taikai@nspehss.org」まで添付ファイルにてお送りください。

* 発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします(必須)。また、可能な限り「誌上发表論文」へも投稿をお願いします。

<学生・若手研究奨励賞>

学会大会では、平成30年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部にも所属する学生・研究生の正会員、または年齢が30歳以下の正会員で、当該発表のファースト・オーサーとなっています。学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

<プログラム詳細・大会要項など>

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては、学会HP及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上发表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格(一般会員・学生会員)を持つ者に限ります。

なお、財政上の理由で、今年度より全会員に対する研究年報の冊子での配布は取りやめることになりました。今後、研究年報は学会HPにアップロードしていく予定です。会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。また、研究年報巻末に記載の学会活動(会報)、会則、内規等につきましても、今後は学会HPにて閲覧していただく予定です。

締切：令和3年1月29日(金)17時

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 天理大学体育学部 寺田和史宛 (E-mail: terada@sta.tenri-u.ac.jp)

<誌上发表論文書式>

*A4用紙、40字×40行、一段組、図表ともで4~6枚、上下左右の余白を20mmとしてください。

(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*今回より、原稿はWordとそれをPDF形式で保存した2種類のファイル(WordとPDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則としてPDFファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示をご希望の方は、一部冊子作成の際にカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただくことがありますので、事前にお問い合わせください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

<発表抄録書式(今年度の大会発表者用)>

用紙A4で1枚(図表込み)、本文は2段組でお願いします。文字フォントは、タイトル14ポイント、氏名・所属11ポイント、本文は9ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9ポイント)を所属と本文の間に3語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記のURLにあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は<誌上发表論文書式>と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：<https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

理事会報告

I. 令和1年度奈良体育学会第3回理事会議事録

日時：2019年11月23日（土）午前10時05分～午前11時40分

会場：奈良女子大学

出席：高橋豪仁（会長）、笠次良爾（理事長）、井上邦子、井上洋一、中谷敏昭

欠席：立正伸

○審議事項

1. 新入会員の承認

日本体育学会会員（奈良地域会員）9名、奈良体育学会新入会員5名が審議の上、承認された。

（1）日本体育学会会員（奈良地域会員）9名

大東実里（奈良女子大学大学院）、高見采加（奈良女子大学）、室采音（奈良女子大学）、重松咲（奈良女子大学）、豊島誠也（天理大学大学院）、三宅庸平（天理大学大学院）、的場弘起（天理大学大学院）、篠原哲也（天理大学大学院）、田中駆（天理大学大学院）

（2）奈良体育学会新入会員：5名

王思涵（奈良教育大学大学院）、栗飯原真央（奈良教育大学大学院）、平元香葉（天理大学大学院）、松本健二（天理大学大学院）、兼安亜美（天理大学大学院）

2. 令和元年度 奈良体育学会総会議事の確認

原案通り、承認された。

3. 学生・若手研究奨励賞について

（1）選考内規の修正（奈良体育学会研究年報第24号に掲載済）

原案どおり了承された。

（2）令和元年度の審査委員会委員

以下の5名が選出された。

笠次良爾（委員長）、井上洋一（副委員長）、井上邦子、星野聡子

4. シンポジスト、講演講師等への謝礼について

「奈良体育学会理事会内規」に準じて謝金を支払うものとし、旅費は原則支給しないということでした承された。

5. 学会大会における一般発表者、研究年報に掲載する投稿論文の筆者について、以下の2点が承認された。

①学会大会における一般発表者

筆頭者（登壇者）は、学会員でなくてはならない。それ以外の発表者は、学会員でなくても良い。

②研究年報に掲載する投稿論文の筆者

筆頭者は、学会員でなくてはならない。それ以外の共著者は学会員でなくてもよい。

上記を、募集時に会報に明記する。

○報告事項

1. 会員の動向

2019年11月22日時点において、学会員110名（日本体育学会奈良支部95名、奈良体育学会員9名、名誉会員6名）であることが報告された。

2. 2019年度第2回地域協力学会連絡会議

資料に基づき中谷敏昭理事より2019年度第2回地域協力学会連絡会議（2019年9月12日慶応大学）について（日本体育学会選挙スケジュールについて、2020年度以降の地域協力学会助成金の配分方法について、現行の協力学会助成金配分方法について等）報告がなされた。

Ⅱ. 令和2年度奈良体育学会第1回(新旧合同)理事会議事録

日時：日時：2020年5月2日(土) 16:00～17:30

場所：Skype 会議にて実施

出席：石坂友司、井上邦子、井上洋一、笠次良爾、白石晃、高橋豪仁、立正伸、寺田和史、中谷敏昭、星野聡子(五十音順、敬称略)

○報告事項

1. 令和2・3年度役員選挙結果について(奈良体育学会選挙管理委員会より)

投票 23 人 (Web 投票 17、郵送投票 6、内無効 1 人)

(理事選挙 有効投票総数 150 票 / 会計監査選挙 有効投票総数 44 票)

<理事候補者7名>(得票順・敬称略) 注)

寺田和史14票、中谷敏昭13票、星野聡子10票、石坂友司8票、笠次良爾8票、井上邦子8票、白石晃7票、高橋豪仁7票、次点：北澤太野6票、中田大貴6票

<会計監査候補者2名>(得票順・敬称略) 注)

北澤太野 4 票、山本大輔 3 票、成瀬九美 3 票、中田大貴 3 票

注) 理事、会計監査いずれも同点位の方がおられましたが、奈良体育学会選挙細則第4条にもとづき、選挙管理委員会が調整を行い、選挙管理委員会の笠次委員長(本会理事長)がくじを引き、理事は白石晃氏、会計監査は山本大輔氏が選出されました。

2. 会員の動向

2020年3月6日現在 会員 113名(内、奈良体育学会のみ10名)、名誉会員 6名

入会・転入者(2019年度)

・日本体育学会(奈良地域会員)登録 or 転入

篠原 哲也、的場 弘起、重松 咲、田中 駆、阿辺山 稜、石指 宏通、乾 順紀、歌川 好夫、大谷 味加、大庭 貴如、大山 良徳、河本 健太郎、小林 篤(体育学会名誉会員)、馬場 崇豪、森谷 公亮、柳田 孝太

・奈良体育学会へ新規入会

粟飯原 真央、王 思涵、兼安 亜美、平元 香葉

退会・転出者(2019年度)

・退会届け出あり

崎山 ゆかり、須波 真央、馬場 浩行、前谷 健佑、餅 美知子

・退会扱い(2年以上会費未納)

木下 光正、中山 拓也、野木 昭志、林 悠馬、村上 弘明

2019年度に日本体育学会(奈良地域会員)から退会 or 転出(2020年3月付)

伊藤 淳、井上 摩紀、今中 美里、太田 裕子、大沼 勇人、北島 順子、胡 山喬、小西 智咲子、関 智美、高田 俊也、田中 励子、智原 江美、筒井 香、豊島 誠也、永井 夕起子、日比 健人、堀井 美奈、松島 剛史、松本 範子、三宅 庸平

○審議事項

1. 令和元年度活動報告…下のとおり承認された。

(1) 奈良体育学会会報発行

第84号 — 学会大会案内号(1)

第85号 — 学会大会案内号(2)

(2) 令和元年度奈良体育学会総会・学会大会

期日：令和元年11月23日(土)

場所：奈良女子大学

参加者：79人(学会員29人、会員外50名)

(3) 奈良体育学会研究年報第24号発行(2020.03)

(4) 次期(令和2・3年度)役員選挙

2. 令和元年度決算（案）…下記のとおり監査報告を受け承認された。

令和1年度奈良体育学会一般会計報告書

R2.3.31
(単位 円)

<収入>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	172,500	169,500	3,000	113名分(内:R2分2名、H30分2名)
補助金	68,000	68,359	△ 359	本部より
学会大会参加費	21,000	23,000	△ 2,000	一般17名(1000円)、大学院生12名(500円)
雑収入	0	0	0	
利子	0	1	△ 1	
当期収入合計	261,500	260,860	640	
前年度繰越金	237,784	237,784	0	
合計	499,284	498,644	640	

<支出>

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	20,000	11,414	8,586	
事務費	10,000	5,478	4,522	
通信費	100,000	77,060	22,940	
学会大会・例会費	100,000	49,000	51,000	
研究年報作成費	150,000	147,070	2,930	
アルバイト料	20,000	11,050	8,950	
講演謝礼	30,000	0	30,000	
予備費	69,284	0	69,284	
当期支出合計	499,284	301,072	198,212	
次年度繰越金	0	197,572	△ 197,572	
合計	499,284	498,644	640	

令和1年度奈良体育学会基金報告書

R2.3.31
(単位 円)

前年度繰越金	収入		支出	現在高	備考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	R2.3.31現在高

2020年5月29日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

梅崎 さゆり 

2020年5月29日

会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

蓬田尚正 

3. 令和2・3年度新役員の選出及び事務局体制について（敬称略）…下記のとおり承認された。

監事校：天理大学
会長：中谷敏昭（天理大学）
副会長：星野聡子（奈良女子大学）
理事長：寺田和史（天理大学）
理事：石坂友司（奈良女子大学）
理事：笠次良爾（奈良教育大学）
理事：井上邦子（奈良教育大学）
理事：白石 晃（天理大学）

会計監査：北澤太野（天理大学）
山本大輔（天理大学）

〈事務局〉

庶務幹事：寺田和史（天理大学）
会計幹事：白石 晃（天理大学）

4. 令和2年度事業計画（案）…下記のとおり承認された。

- (1) 奈良体育学会会報発行
第86号（令和2年度新役員紹介・学会大会案内）
第87号（令和2年度奈良体育学会大会プログラム）
- (2) 令和2年度奈良体育学会総会・学会大会
- (3) 奈良体育学会研究年報第25号発行

5. 令和2年度予算（案）…下記のとおり承認された。

令和2年度 奈良体育学会 予算案

[一般会計]

<収入>

前年度繰越金	¥197,572
会費	¥169,500 R1年度会費納入金額相当
補助金	¥70,000 本部に申請中
大会参加費	¥23,000 R1年度学会大会参加費金額（一般1000円，学生500円）相当
雑収入	¥0
利子	¥0
合計	¥460,072

<支出>

会議費	¥20,000
事務費	¥10,000
通信費	¥80,000
学会大会・例会費	¥80,000
研究年報作成費	¥150,000
アルバイト料	¥20,000
講演謝礼	¥30,000
予備費	¥70,072
合計	¥460,072

研究年報については、コスト削減方法について引き続き検討することとなった。

6. 研究年報投稿論文倫理審査（会員からの問い合わせ）について
体力科学に準じて、所属機関の動物実験委員会等が発行した当該動物実験承認書の承認番号の替わりとして『実験実施年月』を記載していただくこととする。旧理事長から質問者へ返答する。
7. 令和2年度の学会大会、総会について
期日、場所、内容（一般発表、シンポジウムなど）…詳細について次回7月理事会で検討する。
8. 次回理事会開催日
期日：令和2年7月20日（月）
場所：遠隔会議システムを用いる。ホストを奈良女子大学に依頼して、Cisco Webexを使用する。

Ⅲ. 令和2年度奈良体育学会第2回理事会議事録

日時：2020年7月20日（月） 17:00～19:00

場所：Web会議（Cisco Webex 使用）

出席：中谷敏昭（会長）、星野聡子（副会長）、寺田和史（理事長・事務局）、石坂友司（理事）、井上邦子（理事）、笠次良爾（理事）、白石晃（理事・事務局）（順不同・敬称略）

○審議事項

1. 学会大会の開催方法について

Webによる開催で検討することとなった。方法の詳細については、事務局で引き続き検討する。なお、例年同日に行われている学会総会については、電子メールを用いた投票による議決や意見聴取を行う方法で実施することとなった。その後のメール審議により、奈良体育学会公式ホームページを開設し、その中に学会大会専用特設ページを設けて開催する案が承認された。

2. 学会大会の開催場所・日時について

11月21日（土）となった。

3. 学会大会の内容（シンポジウム等について）

「コロナ禍における体育・スポーツ（仮）」をテーマとして、事務局で内容を検討することとなった。

4. 運営経費の削減と収入増について

今後、学会公式HPの立ち上げやサーバーの設置、会報や年報のPDF化とWebによる配信化、選挙の完全Web投票化などについて引き続き事務局を中心として理事会で検討していくこととなった。その後のメール審議により、今年度学会大会までに学会公式HPを開設することとなった。

5. 奈良体育学会研究年報の投稿規程の制定について【資料1】

学術雑誌としてみなされるように、奈良体育学会研究年報の投稿規程を整備することとなった。審議の結果、資料1のような案となった。

6. その他 なし。

○報告事項

1. 会員の動向

日本体育学会から会員名簿を取り寄せたところ、奈良地域所属の現在の会員数は、名誉会員5名、正会員106名の計111名となっている。奈良体育学会のみの会員については調査中である。

2. 2020年度（一社）日本体育学会定時社員総会（中谷敏昭代議員）【資料2】

中谷代議員より、資料2のとおり報告があった。

3. その他

中谷代議員より、奈良体育学会は、日本体育学会地域協力学会として登録人数が100名を割ったとしても代議員を選出できることを確認（2019年6月の定時社員総会で深代会長に確認）したとの報告があった。

Ⅲ. 令和2年度奈良体育学会第3回理事会議事録

日時：2020年9月10日より

会場：電子メールによる

出席：中谷敏昭(会長)、星野聡子(副会長)、寺田和史(理事長・事務局)、石坂友司(理事)、井上邦子(理事)、笠次良爾(理事)、白石晃(理事・事務局) (順不同・敬称略)

○審議事項

1. 奈良体育学会公式ホームページ(HP)の開設について<追加事項>

学会HP内に理事会等の議事録を掲載するページを設けることが承認された。

2. 学会公式HP開設後の管理運営について

原則、今後の学会HPの管理運営は事務局あるいは事務局から委託された奈良体育学会会員1名が行うこととなった。また、管理運営担当者には年額1万円の謝金を支払うこととなった。

3. 令和2年度奈良体育学会大会のWeb上での開催方法について…下記のとおり承認された。

1)開催期間は令和2年11月21日(土)～11月27日(金)となった。

2)開催方法の詳細について

①開催場所は奈良体育学会HP上とする。

②事前参加登録制とし、登録者は「一般発表の演題登録」「質疑を含めた一般発表への参加」「冊子体による研究年報の受け取り」が可能となる。

③上記に伴い、本年度は、学会参加登録者以外の会員に対しての研究年報の配布を取りやめる。

④事前参加登録者には、事前に一般発表のページにログインできるパスワードを配布する。

⑤参加登録料は一般1,000円、学生500円とし、演題登録料は無料とする。

⑥参加登録料の払込は、奈良体育学会口座への郵便振替とする。

⑦一般発表はすべてPDFによるポスター発表とする。

⑧一般発表に対して、参加者は、事務局(メール)を介して筆頭演者に質問やコメントを送ることができ、必要な場合には、筆頭演者は事務局を介してそれらの質問やコメントに答えることができるようにする。

⑨シンポジウムは事前収録による動画配信(オンデマンド)とする。動画はVimeo(動画閲覧サイト)による埋め込みを用いて、大会HPで公開する。奈良女子大学地域貢献事業との共催とし、奈良女子大学スポーツ科学コースのHPでも公開を行う。閲覧のパスワードは一般発表と同様のものを参加登録者、及び奈良女子大学地域貢献事業の研修会参加者に配付する。

⑩その他の細かな設定については、事務局に一任する。

4. 学会大会シンポジウムの内容と開催方法について…下記のとおり承認された。

1) 概要

タイトル「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」<シンポジスト>

成瀬九美先生(奈良女子大学) コロナ禍の高齢者運動指導ボランティアグループの活動(仮)

星野聡子先生(奈良女子大学) コロナ禍の学生の生活実態と健康への影響(仮)

中田大貴先生(奈良女子大学) コロナ禍の体育・スポーツ：脳科学・心理学的見地から(仮)

笠次良爾先生(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ医科学的見地から(仮)

井上邦子先生(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ文化・身体文化の見地から(仮)<座長>

中谷敏昭先生(天理大学)

2) 形式

シンポジスト一人あたり15分程度で発表を行う。発表は各シンポジストによる事前の収録とする。討論は、座長の下でWeb会議システムを利用して行い、その様子を収録する。討論時間は20～30分程度とする。事前にシンポジスト及び座長は、討論の前に他の先生方の発表内容を視聴する。シンポジストの発表内容の収録期限は、11月6日(金)とする。11月6日以降でシンポジスト及び

座長のスケジュールが合うところで、討論の収録を行う。視聴者との質疑応答などのやり取りは無しとする。その他の細かな設定については、事務局に一任いただく。

5. 奈良体育学会総会の開催方法について…下記のとおり承認された。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度の奈良体育学会総会については、電子メールを用いた投票とする。方法は、会報第87号及び学会HPに総会議題及び資料を掲載し、メールにて「学会大会参加登録者」に賛成・反対の投票を行ってもらう。必要な方にはその理由についても記載してもらう。会報及びHPで審議結果、ならびにいただいた意見については氏名非公表で公開する。審議結果等はHP上及び次号の会報で会員に知らせる。

6. 会報の発行時期等について…下記のとおり承認された。

例年、9月中旬に年度初号の会報(第86号)を発行しているが、学会開催方法の通常時からの大幅な変更によりスケジュールが遅れていることから、学会HPの完成のめどなど見通しが立った時点での発送とする。

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※次年度以降の会報の発行について

学会HPの運用に伴い、また、学会運営経費の削減のため、次年度以降の会報の配布は、原則として電子メールによる配信とさせていただきますことを考えています。その場合、日本体育学会に所属されている方につきましては、日本体育学会に届け出されているメールアドレスに送信いたします。

奈良体育学会のみの会員の方につきましては、別途、学会HPから、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※今年度からの研究年報の発行について

研究年報冊子の印刷配布につきましては、長年、学会運営における必要経費の大きな部分を占めており、また近年の継続的な学会運営経費の逼迫をもたらす原因となっていたこと、および学会HP開設に伴う予算使用により費用が不足することから、今年度から全会員への配布は行わないこととさせていただきました。今期については、学会大会参加登録者のみ分の冊子を作り配布するということになりました。今後、段階的にでもWebでの配信に完全移行するかどうかについて、検討を行ってまいります。会員の皆さまのご理解とご協力をいただけますと幸いです。よろしく申し上げます。

※ 日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和1年度の年度会費1,500円をお納め下さい。2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
加入者名 奈良体育学会

「奈良体育学会研究年報」投稿規程（案）【資料1】

1. 奈良体育学会（以下「本学会」という）会則第 17 条（3）に定められた学会誌（「奈良体育学会研究年報」）発行の事業を行うため、この規程を設ける。
2. 「奈良体育学会研究年報」（以下「本誌」という）への投稿は、筆頭著者が本学会会員に限る。ただし、本学会事務局は、本学会の会員と非会員とを問わず論文を依頼することができる。
3. 投稿論文の書式、ページ数、図表等、その他の原稿作成にかかわる規定については、本学会発行の会報等の案内に定めるとおりとする。なお、その他の原稿作成要領については、日本体育学会「体育学研究」投稿の手引きに準ずる。
4. 本誌に掲載された論文の著作権の一切（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む）は、本学会に帰属又は譲渡されるものとする。ただし、論文の内容に関する責任は当該論文の著者が負う。
5. 論文の作成に際しては、研究対象の取り扱い等について十分な倫理的配慮が必要であり、且つ、実際に配慮した点を論文中に明記する。
6. この規程は、奈良体育学会総会の決議により改正することができる。

附則

1. この規定は、2020 年 11 月 21 日から施行する。

6 月 27 日（土）13:30～15:27 WEB による Zoom 会議（奈良地域の代議員として中谷が参加）

○審議事項

1. 2019 年度事業報告について
2. 2019 年度収支決算について
3. 応用(領域横断)研究部会の設置について
4. 学会大会の改善案について
5. 体育・スポーツ政策専門領域の新設について

○主な決定事項

1. 第 71 回日本体育学会を筑波大学で開催することとなった。大会期間は 2021 年 9 月 7 日（火）～9 日（木）、現時点では期間のみ決定（施設が予約できない、他施設開催の場合は経費増、WEB 開催の可能性）。2020 年 11 月開催予定の理事会で内容を検討・決定する。
2. 2020 Yokohama Sport Conference は日本体育学会会員のみ無料でオンライン参加できる。
3. 2019 年度収支決算は 2,534,932 円の黒字（次期繰越収支差額 324,525,378 円）となった。
4. 応用（領域横断）研究部会を設置（①スポーツ文化研究部会、②学校保健体育研究部会、③競技スポーツ研究部会、④生涯スポーツ研究部会、⑤健康福祉研究部会）し、学会大会でのテーマ別シンポジウムの企画、学会大会とは別の一般公開シンポジウムの企画、プロジェクト研究の企画を任務とする。5 つの研究部会に各専門領域から各 1 名が参加する（参加しなくともよいという選択肢は残す）。学会大会における専門領域別のシンポジウムは原則として実施しない。
5. 学会大会の開催は地域ブロック輪番制を廃止して主管校を決定する方法となった。主管校は全国の大学から公募し、理事会で選出する。主管校は応募条件を満たすこと（★拠点大学の標準的な条件に準ずる：500 人以上の教室・ホールが 1 室、200 人以上の教室・ホールが 3 室、100 人以上の教室が 15 室以上、体育・スポーツ系大学および大学院が設置され、学会準備や運営に必要な人員を確保できる、参加者 1,000 人規模の学会大会の運営実績がある、日本体育学会員が 15 名程度在籍している等）。複数大学での共同開催も可とするが、開催場所は 1 つの大学とする。応募がない場合は、★拠点大学の標準的な条件から主管校を理事会が選出し、総会での審議を踏まえて依頼する。その際、過去の開催回数、一定地域に偏らないなどに配慮する。主管校の応募〆切は開催年の 4 年前まで、主管校の順番は 3 年後まで決定しておく。
6. 「体育・スポーツ政策」専門領域の新設が認められた。
7. 次回、臨時社員総会は 10 月 17 日（土）開催予定（対面 or WEB）